

千代田町地震防災マップ

地域の危険度マップ

凡 例

- 群馬県緊急輸送道路 (路線名)
- 千代田町緊急輸送道路
- 道路網(県道以上)
- 町界境
- 行政区界

【建物全壊率】

- 50%以上
- 40-50%
- 30-40%
- 20-30%
- 10-20%
- 7-10%
- 7%未満

■ 地域の危険度マップとは

地域の危険度マップは、揺れやすさマップ上の計測震度をもとに建物の構造(木造・非木造)、建築年次別集計データから算出した建物全壊率の分布を表示したものです。木造かつ建築年次が古い建物が多いほど建物全壊率は高くなります。
※集計は行政区毎に行っているため、建物個別の建物全壊率は必ずしもマップ上の凡例(色分け)と一致するわけではありません。

■ 地震による被害要因

阪神・淡路大震災での死者の約8割は地震直後の家具、建物の倒壊による圧死といわれています。建物については昭和56年5月31日以前に建てられたものに被害が集中しています。そのため地震による被害を防ぐためには建物の耐震化が重要です。

■ 建物の耐震化の流れ

- ①行政や専門家へ相談する
国・県・町は耐震化の支援を行います。まずは千代田町役場までご連絡ください。
- ②耐震診断を実施する
建物の耐震性について調査しましょう。耐震性の判断は建築の専門的な知識が必要なため専門家による耐震診断を受ける必要があります。
- ③耐震改修を実施する
耐震診断の結果を基に、部分的な耐震改修を行うのか、建替えが必要なのか、専門家に相談を行って計画を立てましょう。

●必需品

- 非常食(最低3日分)
- 飲料水(1人最低1リットル)
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- タオル
- 衣類、下着類
- 携帯電話
- 救急セット
- 貴重品

●必要に応じて準備しましょう

- ティッシュ
- 使い捨て食器
- 携帯袋
- ヘルメット
- ドライシャンプー
- 石鹸
- 携帯ナイフ
- 軍手
- 使い捨てカイロ
- 食品用ラップフィルム
- トイレトイペーパー

非常持ち出し品

◆詳しく知りたい方、相談したい方は◆

千代田町役場相談窓口
千代田町役場 都市整備課 TEL:0276-86-7003
までお気軽にご連絡ください。

地震発生時の注意・心得

①まずわが身の安全を図る

- まずはテーブルや机などの下で身を守る。
- 普段から家具類の転倒・移動防止対策をしておく。

②すばやく火の始末

- 地震を感じたら火を消す。
- 火元付近に燃えやすいものは置かない。

③火が出たらまず消火

- 出火した場合は初期消火に努め、隣近所で協力して消火する。
- 消火器具の備えは忘れずに。

④戸を開けて出口を確認

- 建物が歪み、戸が開かなくなる恐れがあるため、出入り口を確認する。

⑤外へ逃げるときはあわてずに

- 周囲の状況をよく確かめ、あわてず落ち着いて行動する。

⑥狭い路地、壁ぎわや川べりに近寄らない。

- ブロック塀等の倒壊に注意。
- 危険な場所にいるときは、急いで離れる。

⑦避難は徒歩で、持ち物は最小限に

- 指定された避難場所まで徒歩で避難する。
- 持ち物は最小限にとどめ身軽な行動をとるようにする。

⑧協力しあって応急救護

- みんなで助け合い、応急救護する。
- お年寄りや体の不自由な方の手助けを心がける。

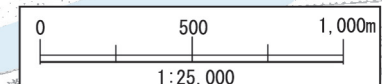
⑨正しい情報を得る

- 地震の時は官公署の正確な情報やその指示に従って行動する。
- 噂やデマには耳を傾けない。

⑩秩序を守り、衛生に注意

- 非常時には身勝手な行動を避け、秩序を守って行動する。
- 衛生には十分注意する。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情保、第1359号)」
※国土地理院の長の承認を得ずにマップを複製することを禁じます。



発行
群馬県千代田町役場
〒370-0598
群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1895-1
TEL: 0276-86-2111 FAX: 0276-86-4591
HP: <http://www.town.chiyoda.gunma.jp/>